

今日どうなるかわからない現代の問いと応えとは何か？



“TODAY NEVER KNOWS”
YAP

会期：2017年2月4日-3月5日

時間：11:00~20:00 (最終入場19:30) 入場：無料

会場：神戸別品博覧会 2Fギャラリー (〒650-0021兵庫県神戸市中央区三宮町2丁目11-3)

1966年、音楽グループのザ・ビートルズが“Tomorrow Never Knows”をリリースした。チベット思想に基づく意味深なリリックと、逆再生やタンブーラを用いたサイケデリック・サウンドは当時、「明日どうなるかわからない」時代を生きるためのインスピレーションを、多くの人々に与えた。

あれから50年経った。世界はもはや「今日どうなるかわからない」状態にある。このような21世紀の時代状況は、20世紀の“Tomorrow Never Knows”に対して、“Today Never Knows”と言い換えることができるだろう。では、この“Today Never Knows”という現代における問いと応えは、いったいどのようなものだろうか。

今回が神戸初上陸のYAPは、2012年に結成されたアートグループだ。30人を超えるアーティストたちが、大阪、京都、上海、東京、福島、ブダペスト、ベルリン、香港、マンチェスター、ニューヨーク、ローマ、ロンドンなどで活動してきた。もしかすると、これから神戸別品博覧会で待ち構えているアート体験は、いくらか謎に満ちたものになるだろう。そのせいで、あなたを少しだけ惑わせるかもしれない。なぜならそれは、“Today Never Knows”を生きるためのフィジカル・トレーニングであり、目の前の現実を問い直し、再構成するためのラディカル・プラクティスであるからだ。しかし、例えば再び会場を訪れた時、以前と違う何かを見つけたら、それはあなたがすでに“Today Never Knows”という世界で新しい体を使いはじめた証だ。インスピレーションはその先で待っている。

2017 YAP